

笠間市議員定数等調査特別委員会記録

令和6年3月15日 午後4時00分開会

出席委員

委員長	田村幸子君
副委員長	鈴木宏治君
委員	長谷川愛子君
〃	酒井正輝君
〃	河原井信之君
〃	川村和夫君
〃	坂本奈央子君
〃	安見貴志君
〃	内桶克之君
〃	益子康子君
〃	林田美代子君
〃	田村泰之君
〃	村上寿之君
〃	石井栄君
〃	畑岡洋二君
〃	西山猛君
〃	石松俊雄君
〃	大貫千尋君
〃	小藺江一三君
〃	石崎勝三君
〃	大関久義君

欠席委員

委員	飯田正憲君
----	-------

出席議会事務局職員

議会事務局長	西山浩太
議会事務局次長	堀内恵美子
次長補佐	鶴田貴子
係長	神長利久

議 事 日 程

令和 6 年 3 月 1 5 日（金曜日）

午後 4 時 0 0 分開会

- 1 開会
 - 2 案件
 - (1) 委員長の互選について
 - (2) 副委員長の互選について
 - (3) その他
-

午後 4 時 0 0 分開会

○西山議会事務局長 大変お疲れのところ御苦労さまです。先ほどの午前中の本会議の中で、委員会条例第 6 条の第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、議員定数等調査特別委員会が設置されました。

ここで、議員定数等調査特別委員会委員長の互選をお願いしたいと思います。

委員会条例第 10 条第 2 項の規定により、年長の委員が臨時委員長の職務を行うことになっております。在籍中、石崎勝三委員が年長委員でありますので、臨時委員長の職務をお願いいたします。

〔臨時委員長 石崎勝三君着席〕

○石崎臨時委員長 ただいま御紹介をいただきました石崎勝三です。委員会条例に基づきまして、臨時の委員長を務めさせていただきます。皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

ただいまの出席委員は 21 名であります。

定足数に達しておりますので、これより議員定数等調査特別委員会を開きます。

なお、本日の委員会には、事務局より局長、次長、次長補佐、係長が出席しております。会議の記録は、書記の鶴田次長補佐をお願いいたします。

○石崎臨時委員長 それでは、委員長の互選を行います。

委員長の互選はどのようにしたほうがいいと思いますか。意見を出してください、誰か。西山委員。

○西山 猛委員 本件につきましては、議会運営委員会で議論を重ねてきて、今回皆さんの御理解の下、議案を提出して可決していただきました。議会運営委員会のメンバーの中から 1 人を委員長ということで、過日の議会運営委員会の中でもお話をまとめたところですが、もし皆さんの御理解がいただければ、議会運営委員会委員の田村幸子委員をお願い

したいなと思っております。あくまでも提案でございますので、皆さんの御意見もいただきたいと思っております。よろしくお願いします。

○石崎臨時委員長 ただいま西山委員から、田村幸子委員を推薦したいということでございますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○石崎臨時委員長 では、私のほうから御指名いたします。

委員長に、田村幸子委員をお願いしたいと思っております。皆さんのお願いでございますので、どうぞよろしくお願いします。

ここで委員長と交代しますので、ここへ来て、あと進行してください。

〔臨時委員長 石崎勝三君退席、委員長 田村幸子君着席〕

○田村委員長 ただいま議員定数等調査特別委員会委員長に御指名をいただき、ありがとうございます。委員各位の御協力をいただきまして、議員定数や政務活動費の在り方について、状況などを十分に調査し、審議する重責を担ってまいりたいと思っております。御指導、御協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

○田村委員長 それでは、副委員長の互選を行います。

お諮りいたします。

皆様の御意見ございませんでしょうか。

西山委員。

○西山 猛委員 同じく議会運営委員会の委員長の役目柄で一言提案させていただきたいのですが、笠間市議会の開かれたというイメージも含めて、懐の深いところを見ていただくのに、1期生、1年生議員のうち、立場上、川村議員は遠慮していただいて、4人の中で話し合っと思うのですが、いかがでしょうか。休憩を取っていただいて、別室で話し合いをして1人ということをお願いできればなと思っています。

○田村委員長 ただいま西山委員のほうから、1期のメンバーからということで御意見をいただきました。川村議員は除いてということで、申し訳ございませんが。そのほかに御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田村委員長 では、1期の皆様に決めていただくということでよろしいですか。1期の皆様、いかがですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○田村委員長 では、暫時休憩いたします。

午後4時07分休憩

午後4時08分再開

○田村委員長 では、休憩を解いて会議を再開いたします。

ただいま茨城新聞社の方から傍聴の要望がございましたので、許可をさせていただきたいと思います。

それでは、続けて会議を進めさせていただきます。

では、1期の皆様から代表でお願いいたします。

○長谷川愛子委員 僭越ながら発表させていただきたいと思います。

4人で話し合いをした結果、鈴木委員が行っていただけるということでお願いさせていただきました。どうでしょうか。

○田村委員長 ただいま4人で決めていただきまして、鈴木委員というお名前が出ました。皆様よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○田村委員長 御異議なしと認めます。よって、鈴木委員が議員定数等調査特別委員会副委員長に決定いたしました。よろしくお願いいたします。

では、ここで前のほうに移動していただけたらと思います。

それでは、副委員長に御挨拶をお願いしたいと思います。

鈴木委員、よろしくお願いいたします。

○鈴木副委員長 政研会3人が1年でいたので、その中で鈴木という声をいただき、僭越ながら副委員長を務めさせていただくことになります。

私の政党は議員定数削減、政務活動費削減ということをおっしゃるので、なかなか難しい面もありますけれども、副委員長として自分の考えはしっかりと持ちながらお手伝いさせていただきたいと思いますので、皆さんよろしくお願いいたします。

○田村委員長 ありがとうございます。

○田村委員長 それでは、次の開催日及び今後の審議の進め方ですが、議運のほうで御意見が出したのは、年内12月ぐらいをめどに方向性を決めていくのがよいのではないかとこの御意見の下に、これからロードマップを作りながら、次の第1回の会議は、4月19日の全員協議会の日に、清掃特別委員会もごさいますが、どちらが先にさせていただくのかはまた検討していただきまして、第1回目の議員定数等調査特別委員会の開催をさせていただきたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

石松委員。

○石松俊雄委員 議会運営委員会の中では12月という話が出たのかもしれないですけども、議論の内容に私はよさと思うのです。だから、最後を本年12月と決めるのではなくて、遅くとも改選の1年前には決めないと間に合わないと思いますので、改選の1年前をめどに議論をするというふうにしていただきたいと思います。今年12月というふうに期限を本日決めるというのはやめていただきたいと思います。

○田村委員長 今、石松委員の御意見がございました。皆様、ほかに御意見ございませんか。

田村委員。

○田村泰之委員 私は令和7年12月。

○田村委員長 ほかにありますか。

大関委員。

○大関久義委員 多分、議論を重ねると難しい部分もあるかと思います。前回の特別委員会で、同じように議員定数削減等々について特別委員会を設置してやった経験からすると、進捗状況によって、今、石松委員のほうからあったように少なくとも1年前を目途にするということで、柔軟な考えでやられたらいいのではないかと思います。よろしくお願いします。

○田村委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○田村委員長 今、二つの意見がございました。1年後ぐらいをめどに協議をしていくのがよろしいのではないかという意見と、令和7年12月という意見がございました。こちらはどのように皆様……。

〔「1年前だから同じですよ」と呼ぶ者あり〕

○田村委員長 そうですね。分かりました。失礼いたしました。令和7年12月をめどにロードマップを作ってまいりたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

西山委員。

○西山 猛委員 要するに、遅くとも改選の1年前を目途として柔軟に対応していきましようよというのが正しいのではないですか。だから、今年12月でということじゃなくて、その次、令和7年12月を目途として柔軟に対応してやっていきましようよということだと思うのです。それが正しいのではないかと。期限を切るのではなくて、目途としてということでもよろしくをお願いします。

○田村委員長 分かりました。ありがとうございます。それでは、今、西山委員がまとめてくださいましたけれども、改選の1年前までには意見がまとまっていくような方向で進めてまいりたいと思いますので、皆様の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、次回は4月19日の全員協議会の後ということで開催をさせていただきたいと思います。

本日は、これもちまして議員定数等調査特別委員会を閉会いたします。

大変に御苦労さまでした。

午後4時16分閉会